

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 21-002

PDCA	事務事業名	地域自殺対策強化事業	部課等名	健康子ども部 保健センター 健康担当	担当 内線等	数内 84-0646	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち					
		節： 第3節 健康増進と医療体制の充実					
		基本施策： 1. 健康づくり					
		単位施策： (3) 疾病予防・感染症に対する取り組み					
	根拠法令等	自殺対策基本法、愛知県地域自殺対策強化事業費補助金交付要綱					
	対象・目的	自殺の問題は、個人の問題ではなく、社会の問題であることから、誰もが自殺の問題を我が事としてとらえることができるよう、市民一人ひとりのこころの健康づくりをすすめると共に、生きるための包括的支援としての自殺対策を推進します。					
	目的を達成するための手段・活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康相談として、「こころの保健室」「若年層(39歳以下)向け相談」を実施する。 ・市民を対象に「こころの健康講座」や地域にて「健康健康相談」を実施することで、セルフケアやこころの健康について普及啓発する。必要時は、専門機関へつなぐ。 ・新入職員、民生児童委員及び市民向けにゲートキーパー養成講座を開催し、自殺を考えている人に適切な対応ができる人材を養成する。 ・半田市の自殺対策の指針となる「半田市自殺対策計画」を策定する。 					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①こころの保健室相談者数	34	34	44	人	
		②こころの健康講座参加延べ人数	964	1,045	1,201	人	
		③青年期の心理相談相談者数	—	—	—	人	
		事業費	365	319	548	千円	
		人件費	2,224	2,855	6,558	千円	
	総事業費	2,589	3,174	7,106	千円		
	活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位		
	①こころの保健室の一人あたりのコスト	9,871	11,409	10,025	円		
	②こころの健康づくりの一人あたりのコスト	659	754	838	円		
③青年期の心理相談の一人あたりのコスト	—	—	—	円			
成果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位		
	①こころの健康講座参加者満足度	実績値	87.5	81.5	87.1	%	
		目標値	100.0	100.0	90.0		
	②ゲートキーパー養成講座の受講者のアンケートで「自殺を考えている人に声かけができる」人の割合	実績値	77.8	91.3	82.9	%	
		目標値	90.0	90.0	90.0		
	③	実績値					
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	<p style="text-align: center;">C</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半田市自殺対策の指針となる「半田市自殺対策計画」を市民委員や関係機関の協力のもと、策定することができた。 ・自殺対策のための人材育成として「ゲートキーパー養成講座」では、対象を広げて実施できたものの、「自殺を考えている人に声かけができる」人の割合が目標を下回ったことから、実施方法や内容を見直す必要がある。自殺対策には、若年層(39歳以下)からのこころの健康が重要であるため、若年層に対するストレスチェックや相談を充実させる必要がある。 ・こころの健康講座では、「睡眠」という身近で関心のあるテーマで実施したことで、昨年度より満足度が上昇したと思われる。 					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	<p style="text-align: center;">改善推進</p> <p>半田市自殺対策計画にもとづき、関係機関と協力・連携し、包括的に自殺対策を推進する。その一環として、新たに子どもに接する機会が多い市民や相談対応に関わる市民向けに「ゲートキーパー養成講座」を開催する。その際、事例や対応例等を盛り込むなど、内容を工夫する。また、若年層(39歳以下)を対象にしたストレスチェックや健康相談を充実させ、こころの健康について考える機会を設け、必要な支援につなぐ。さらに、自殺対策には日々のこころの健康が重要であるため、身近でこころの健康と関連が深いテーマを選別して講座を開催する。</p>					
	令和元年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		①ゲートキーパー養成講座の受講者のアンケートで「自殺を考えている人に声かけができる」人の割合	80	%			
	②地域でのストレスチェックの実施回数	20	回				